

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年8月30日

事業所名

きらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		スペースを十分確保している。最大限生かすように活用できるプログラムの立案をします。	クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用をさらに改善していきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	安心・安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しています。	送迎時の安心・安全確保のため職員数をあと1~2名増やす必要を感じています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	階段はトラロープで安全面は補充しています。	雨天時は指導員が傘をさし横に付き添いながら手をつなぎ移動するように配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	毎日の打合せでPDCAサイクルを活用し指導員が周知しています。	PDの後のCAで足りていない部分を工夫し改善していきます。そのために全職員でスキルアップが必要です。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4	今年度1年目でアンケートを実施しました。	回答率をあげ保護者の意向を留意していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			令和2年度より当社ホームページにて公開いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		第三者委員会による評価は行っておりません。今後の検討事項といたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	月1回、会社独自の研修会を開催している。	日々の業務に追われ外部への研修への参加が多くないので研修へ行きやすい体制を整える必要があります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	児童発達支援管理責任者を中心に支援会議を行い個別支援計画を作成しています。	日々の支援記録や個人ファイル、保護者への報告、連絡、相談等を共有し計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		活動プログラムを充実させるために児童の発達課題やニーズを把握した上で随時職員間で話をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		個別プログラムは発達段階に応じてプログラムを変化させています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期休暇ではその日のイベントを設定し取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6		児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前に支援の内容や役割分担・タイムスケジュール等職員間で打合せしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	送迎終了後、緊急対応や必要事項はその日のうちに打ち合わせをしている。	積み残した問題点や課題については次の日に必ず打ち合せを行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		個別で行った日々の支援記録をその日の内に記録している。	支援記録をさらに検証し日々の支援の検証・改善につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	半年に一度定期的に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	3		ガイドラインを全指導員で周知し、支援に生かしていく。

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようになっています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	学校や保護者様と情報を共有し連絡調整を行っている。	送迎時、電話、メール等、あらゆる手法で学校、保護者と連絡・連携を密にしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		新規利用者様に関して、可能な限り情報の共有に努めています。
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6		現在、該当者はおりません。今後障害福祉サービスへ移行する場合は情報の提供をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	児童発達支援センターや社会福祉協議会と連絡連携を図り助言をいただいています。	児童発達支援センターや社会福祉協議会の主催する研修に可能な限り参加いたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	外遊びで公園に行ったときに交流の機会がありました。	コロナ禍の為、意図的な交流は控えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		コロナ禍の為、参加しておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	連絡時には課題のみならず、よいところを必ず伝えるように心がけています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる機会を通じて、保護者と連絡・連携をさらに密にし発達の状況や課題について共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	送迎時、利用者様の状況を伝える際に効果的だった具体的な支援方法や、言葉の掛け方などを伝えたり保護者への支援を行っています。	コロナ禍の為、マニュアルを使用してのペアレントトレーニングは行っていません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等については契約時に丁寧な説明を行っています。	変更があればその都度説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	保護者様が子育ての悩み等の相談をしやすい環境づくりに努めています。	保護者から子育ての悩み等に対する相談に対して効果的だった具体的な支援方法や言葉の掛け方など助言・支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		事業所として保護者会は開催していませんが保護者様からの要望があれば検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	苦情やトラブルに関してはその日の内に職員間で共通理解し迅速に対応するように努めます。
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	5		毎月の活動予定表を発行しています。活動記録等、会報やホームページを利用し発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6		写真使用に関して承諾書を提出いただき、個々の条件によって対応しています。	個人情報取り扱いについて、保護者様へ契約時に説明させていただいた上、記名、捺印いただいております。職員に対しても採用時に誓約書を作成し同意いただいています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		言葉の理解が難しい子どもに対しては絵カードやホワイトボード等を活用し視覚支援を心がけています。	障がいのある保護者様に対しては視覚支援はもちろん、メール等を活用しながら情報伝達に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		コロナ禍の為、行っておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		<b>6</b>		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、全職員に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<b>3</b>	<b>3</b>		定期的な避難計画を策成し定期的に避難訓練を実施します。消防署とも連携を図り実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<b>4</b>	<b>2</b>		外部、内部研修を通して共通理解を図り、利用者様に対して丁寧な対応を心がけています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<b>3</b>	<b>3</b>	やむを得ず一時的に身体拘束を行うかについて、職員間で共通理解を図っている。	やむを得ず一時的拘束をする場合について契約時に説明を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<b>2</b>	<b>4</b>	食べ物は基本、各ご家庭で用意をしていただいています。	アレルギー一覧表を作成し、全職員で共有いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<b>5</b>	<b>1</b>	ヒヤリハット事例は記録に残しています。	職員全体で情報共有し再発防止に努めます。

## 放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 9月 13日

事業所名 きらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	スペースを十分確保している。最大限生かすように活用できるプログラムの立案をします。	クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用をさらに改善していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	3	安心・安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しています。	安心・安全確保のため待ち受けの職員を1~2名残れる体制作りが必要と感じています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7	階段はトラロープで安全面は補充しています。	2階入り口までの階段の昇降は指導員と手を繋ぎ行っています。雨天時は指導員が傘をさし横に付き添いながら手をつなぎ移動するように配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	毎日の打合せでPDCAサイクルを活用し指導員が周知しています。	PDの後のCAで足りていない部分を工夫し改善を継続していきます。そのための全職員のスキルアップが必要です。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	今年度で3年目に入りました。昨年続きアンケートを実施しました。	回答率をあげ保護者の意向に留意していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	令和2年度より当社ホームページにて公開しております。	令和3年度も引き続き当社ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	今年度より第三者委員会を立ち上げました。	今年度、第三者委員会による評価を行いたいと考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	月1回、会社独自の研修会を設けています。	外部研修への参加が多くないので外部研修へ行きやすい体制を整える必要があります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	8	0	児童発達支援管理責任者を中心に支援会議を行い個別支援計画を作成しています。	日々の支援記録や個人ファイル、保護者様への報告、連絡、相談等を共有し計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	活動プログラムを充実させるために児童の発達課題やニーズを把握した上で随時職員間で話をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	個別プログラムは発達段階に応じてプログラムを変化させています。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<b>6</b>	<b>2</b>	長期休暇ではその日のイベントを設定し取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<b>8</b>	<b>0</b>	児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<b>8</b>	<b>0</b>	支援開始前に支援の内容や役割分担・タイムスケジュール等職員間で打合せしています。	毎日の体制表、業務日誌の作成で個々にも打合せをしております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<b>7</b>	<b>1</b>	送迎終了後、緊急対応や必要事項はその日のうちに打ち合わせを行っています。	積み残した問題点や課題については次の日に必ず打ち合せを行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<b>7</b>	<b>1</b>	個別で行った日々の支援記録をその日の内に記録している。	支援記録の書き方等を研修の項目に入れ、日々の支援の検証・改善につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<b>8</b>	<b>0</b>	半年に一度定期的に行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<b>8</b>	<b>0</b>		ガイドラインを全指導員で周知し、支援に生かしております。さらに工夫をしていきたいと考えております。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<b>6</b>	<b>2</b>	担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<b>8</b>	<b>0</b>	学校や保護者様と情報を共有し連絡調整を行っています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる手法で学校、保護者様と連絡・連携を密にしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<b>0</b>	<b>8</b>		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<b>5</b>	<b>3</b>		新規利用者様に関して、契約時に就学支援シート等で可能な限り情報の共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<b>0</b>	<b>8</b>		現在、該当者はおりません。今後、障害福祉サービスへ移行する場合は情報の提供をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<b>7</b>	<b>1</b>	児童発達支援センターや社会福祉協議会と連絡連携を図り助言をいただいているます。	児童発達支援センターや社会福祉協議会の主催する研修に可能な限り参加いたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<b>2</b>	<b>6</b>	外遊びで公園に行ったときに交流の機会がありました。	コロナ禍の為、意図的な交流は控えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<b>2</b>	<b>6</b>		コロナ禍の為、積極的には参加しておりません。

保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡時には課題のみならず、よいところを必ず伝えるように心がけています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる機会を通じて、保護者様と連絡・連携をさらに密にし発達の状況や課題について共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5	送迎時、利用者様の状況を伝える際に効果的な具体的な支援方法や、言葉の掛け方などを伝えたり保護者様への支援を行っています。	コロナ禍の為、マニュアルを使用してのペアレントトレーニングは行っていません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	運営規程、支援の内容、利用者負担等については契約時に丁寧な説明を行っています。	変更があればその都度説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者様が子育ての悩み等の相談をしやすい環境つくりに努めています。	保護者様から子育ての悩み等に対する相談に対して効果的だった具体的な支援方法や言葉の掛け方など助言・支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		コロナ禍ですので事業所として保護者会は開催していませんが保護者様からの要望があれば検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	苦情やトラブルに関してはその日の内に職員間で共通理解し迅速に対応するよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		お誕生日カードでの写真や毎月の活動予定期表を発行しています。活動記録等、会報やホームページを利用し発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	写真使用に関して承諾書を提出いただき、個々の条件によって対応しています。	個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させていただいた上、記名、捺印いただいております。職員に対しても採用時に誓約書を作成し同意いただいています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	絵カードやホワイトボード等を活用し視覚支援を心がけています。	障がいのある保護者様に対しては視覚支援はもちろん、メール等を活用しながら情報伝達に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8		コロナ禍の為、行っておりません。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	7		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、全職員に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2	年に2回行うよう活動計画にも入れています。	定期的な避難計画を作成し定期的に避難訓練を実施します。消防署とも連携を図り実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	月1回の研修会の他に必要に応じて会議を設けています。	外部、内部研修を通して共通理解を図り、利用者様に対して丁寧な対応を心がけています。

等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<b>8</b>	<b>0</b>	やむを得ず一時的に身体拘束を行うかについて、保護者様には契約時に説明をしております。	職員間ではやむを得ず一時的拘束をする場合について、日々の支援を振り返り、随時、共通理解を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<b>6</b>	<b>2</b>	食べ物は基本、各ご家庭で用意をしていただいています。	アレルギー一覧表を作成し、全職員で共有いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<b>8</b>	<b>0</b>	ヒヤリハット事例は記録に残しています。	職員全体で情報共有し再発防止に努めます。

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和5年9月3日

事業所名

きらめき

		チェック項目					はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	3	・3Fのプレイルームでは接触ケガがないように集団遊びを取り入れています。	クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用をさらに改善していきます。				
	2	職員の配置数は適切である	10	1	安心・安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しています。	安心・安全確保のため待ち受けの職員を1~2名残れる体制作りが必要と感じています。				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1	階段はトラロープで安全面は補充しています。	2階入り口までの階段の昇降は指導員と手を繋ぎ行っています。雨天時は指導員が傘をさし横に付き添いながら手をつなぎ移動するように配慮していきます。				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1	毎日の打合せでPDCAサイクルを活用し指導員が周知しています。	PDの後のCAで足りていない部分を工夫し改善を継続していきます。そのための全職員のスキルアップが必要です。				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	今年度で3年目に入りました。昨年に続きアンケートを実施しました。	回答率をあげ保護者の意向に留意していきます。				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	令和2年度より当社ホームページにて公開しております。	令和5年度も引き続き当社ホームページにて公開いたします。				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	1	作年度より第三者委員会を立ち上げました。	今年度、第三者委員会による評価を行いたいと考えております。				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	月1回、会社独自の研修会を設けています。	外部研修への参加が多くないので外部研修へ行きやすい体制を整える必要があります。				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1	児童発達支援管理責任者を中心に支援会議を行い個別支援計画を作成しています。	日々の支援記録や個人ファイル、保護者様への報告、連絡、相談等を共有し計画を作成しております。				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1						
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	活動プログラムを充実させるために児童の発達課題やニーズを把握した上で随時職員間で話をしています。	月に二回から三回、療育会議を開催し活動プログラムを組み立てています。				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	個別プログラムは発達段階に応じてプログラムを変化させています。	月に二回から三回、療育会議を開催し活動プログラムを組み立てています。その中でプログラムが固定化しないように工夫しています。				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	2	長期休暇ではその日のイベントを設定し取り組んでいます。					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	特に3階のプレイルームでは「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」「大縄跳び」「ドッヂボール」等の集団遊びに取り組んでいます。				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	支援開始前に支援の内容や役割分担・タイムスケジュール等職員間で打合せしています。	毎日の体制表、業務日誌の作成で個々にも打合せをしております。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1	送迎終了後、緊急対応や必要事項はその日のうちに打ち合わせをしています。	積み残した問題点や課題については次の日に必ず打ち合せを行うようにしています。また支援記録でも共有しています。				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	個別で行った日々の支援記録をその日の内に記録している。	支援記録の書き方等を研修の項目に入れ、日々の支援の検証・改善につなげています。				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1	半年に一度定期的に行ってい	ます。				

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	10	1		ガイドラインを全指導員で周知し、支援に生かしております。さらに工夫をしていきたいと考えております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校や保護者様と情報を共有し連絡調整を行っています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる手法で学校、保護者様と連絡・連携を密にしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	11		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	0		新規利用者様に関して、契約時に就学支援シート等で可能な限り情報の共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	11		現在、該当者はおりません。今後、障害福祉サービスへ移行する場合は情報の提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	児童発達支援センターや社会福祉協議会と連絡連携を図り助言をいただいている。	児童発達支援センターや社会福祉協議会の主催する研修に可能な限り参加いたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7	外遊びで公園に行ったときに交流の機会がありました。	地域のイベントに参加するなど交流を考えていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	7		コロナ禍の為、積極的には参加しておりませんでしたが、機会を見て参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	連絡時には課題のみならず、よいところを必ず伝えるように心がけています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる機会を通じて、保護者様と連絡・連携をさらに密にし発達の状況や課題について共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	1	送迎時、利用者様の状況を伝える際に効果的だった具体的な支援方法や、言葉の掛け方などを伝えたり保護者様への支援を行っています。	マニュアルを使用してのペアレントトレーニングは行っていませんが、電話やメール等、相談や質問を受け付け個々に支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	運営規程、支援の内容、利用者負担等については契約時に丁寧な説明を行っています。	変更があればその都度説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	保護者様が子育ての悩み等の相談をしやすい環境づくりに努めています。	保護者様から子育ての悩み等に対する相談に対して効果的だった具体的な支援方法や言葉の掛け方など助言・支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	11		コロナ禍でしたので事業所として保護者会は開催していませんでしたが保護者様からの要望も出てきましたので、前向きに検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	苦情やトラブルに関してはその日の内に職員間で共通理解し迅速に対応するように努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0		お誕生日カードでの写真や毎月の活動予定表を発行しています。活動記録等、会報やホームページを利用し発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	写真使用に関して承諾書を提出いただき、個々の条件によって対応しています。	個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させていただいた上、記名、捺印いただいております。職員に対しても採用時に誓約書を作成し同意いただいています。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	絵カードやホワイトボード等を活用し視覚支援を心がけています。	障がいのある保護者様に対しては視覚支援はもちろん、メール等を活用しながら情報伝達に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	11		コロナ禍の為、行っておりませんでしたが、機会を設けていきたいと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、保護者にも周知していきたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	年に2回行うよう活動計画にも入れています。	定期的な避難計画を作成し定期的に避難訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	月1回の研修会の他に必要に応じて会議を設けています。	外部、内部研修を通して共通理解を図り、利用者様に対して丁寧な対応を心がけています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1	やむを得ず一時的に身体拘束を行う場合について、保護者様には契約時に説明をしております。	職員間ではやむを得ず一時的拘束をする場合について、日々の支援を振り返り、随時、共通理解を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	食べ物は基本、各ご家庭で用意をしていただいています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	ヒヤリハット事例は記録に残しています。	職員全体で情報共有し再発防止に努めます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス きらめき

公表日 令和6年10月 8日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	運動したい子と静かにしたい子のスペースが分かれている。スペースに上下に荷物を置いたり個人スペースが設けられている	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	個別支援が必要な児童には1対1で支援している	個別指導の多い月火は人手が欲しい。マンツーの子ども以外の支援のさらなる工夫が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	階段のロープ、注意書きや机のスペースには視覚支援解をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	時間や、やっている事毎にスペースを区切ってある	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	クールダウンできる場所が確保されている。部屋ではないが、囲いなどを使い工夫している。プレイルームが別で設けてある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	職員会議や打ち合わせ等で共通認識されている。している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	職員会議や打ち合わせ等で共通認識されている。している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	同上。職員会議にて必要に応じて話し合い改善している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	研修あり	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	個別の支援計画が出来ている。されている	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	月間活動にて作成している	

適切な支援	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	職員会議や打ち合わせ等で検討している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	同上	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	打ち合わせで確認している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	面談や電話等でその都度設定している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	療育会議を中心にチームで行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	療育、活動会議にて同じような活動にならないよう工夫している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別に支援を療育会議で作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	毎日の打ち合わせで確認している。毎日申し送りをしている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	残った職員で行っている。翌日に共有している。必要な事は子どもが帰宅した後に共通理解をしている。申し送りや引き継ぎを行う	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	支援記録にて改善につなげている。改善する所を話し合う	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	職員会議、ケース会議にて打ち合わせの際に確認している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	月間活動作成等時に4つの基本活動が組み合わさるように計画している。取組されている	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	自由時間の時に子どもがやりたいことを指導員と話し合って活動している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	管理者が参加している	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	必要に応じて関係機関や学校と連携している。	さらに連携を深めていきたい。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10	0	複数の指導員の目で確認している	
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	必要に応じて助言をいたしている	さらに連携を深めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	生き方チャレンジにて実施している	今後他事業所との交流をしたい
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	8		現場の状況もありなかなか参加できなかったが機会を作りたい
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	必要なときにその都度話している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	今年度、保護者会を開催した	個別には対応しているがプログラムとしては取り組めていないので工夫し検討していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	保護者会は実施し、好評だった	参加者が10名だったので次回開催時にはさらに参加人数を増やしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	その日に電話等で対応している	さらに丁寧に対応していきたい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		地域を招待する工夫をしていきたい。招待出来る場を設定していきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	避難訓練を実施している(年2回)	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	おやつ等食べものについてはご家庭で準備をしていただいている	今まで対応したケースはない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	打ち合わせ等で確認している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修を行い適切な対応を心掛けている	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、こどもや保護者に事前に十分に説 明し了解を得た上で、放課後 等デイ サービス計画に記載しているか。	10	0	研修を行い適切な対応を 心掛けている	
----	--	----	---	--------------------	--